

作業療法技術学Ⅱ（アートセラピー）

【科目名】 作業療法技術学Ⅱ（アートセラピー）		【担当教員】 若松 直樹 wakamatsu@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー) 月～木 11:00～16:00 長谷川 千種 hasegawa@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー) 月～金 8:30～18:00
【授業区分】 専門分野（特論）	【授業コード】 4-26-1020-0-1	
【開講時期】 2・3年次 後期	【選択必修】 3年必修・4年選択	
【単位数】 1単位	【コマ数】 8コマ	
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 特になし (受講のルールに関わる情報・予備知識) 特になし		
【講義概要】 (目的) アートセラピー（芸術療法）の中でも特に、人間性心理学の理論を基礎として現象学的なアプローチでクライアントに対峙する「表現アートセラピー」を学ぶことによって、自分と他者をより深く理解し、カウンセラー・セラピストといった対人援助者としての在り方や対象者へ関わり方を学ぶことができる。 (方法) 表現アートセラピーの技法と理論を理解できるように、実際のセッション体験を中心とした講義を行う。		
【一般教育目標(GIO)】 対人援助者として必要な態度、感覚、技術を習得するために、表現アートセラピーの理論と実際に体験して理解する。 【行動目標(SBO)】 ・表現アートセラピーを通じて自己覚知し、他者とどのように関わっていけるのか論じることができる。 ・表現アートセラピーを将来の対人援助においてどのように応用することができるか考察できる。		
【教科書・リザーブドブック】 講義の内容に合わせて、プリントを配布します。		
【参考書】 必要に応じて紹介します。		

平成 26～28 年度入学者用

【評価に関わる情報】									
(評価の基準・方法)									
<ul style="list-style-type: none"> 成績評価基準は、本学学則規程の GPA 制度に従う。 下記の評価基準により、100 点満点で 60 点以上を合格とする。 									
【達成度評価】		試験	小 テスト	レポート	成果 発表	実技	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合		0	0	60	0	40	0	0	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識	0	0	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造の力	0	0	40	0	0	0	0	40
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	20	0	0	20
	発表力	0	0	0	0	10	0	0	10
	学修に取り組む姿勢	0	0	20	0	10	0	0	30
【授業日程と内容】									
回数	講義内容			授業の 運営方法	学修課題(予習・復習)			時間 (分)	
1	芸術療法について			講義 一部実技	(復習) 講義内容を理解する			30 分	
2	表現アートセラピー・セッション (1) 絵を中心にして			実技	(復習) 講義内容を理解する			30 分	
3	表現アートセラピー・セッション (2) 粘土を中心にして			実技	(復習) 講義内容を理解する			30 分	
4	表現アートセラピー・セッション (3) 音楽を中心にして			実技	(復習) 講義内容を理解する			30 分	
5	表現アートセラピー (4) ダンス/ムーブメントを中心にして			実技	(復習) 講義内容を理解する			30 分	
6	表現アートセラピー (5) 詩や物語を中心にして			実技	(復習) 講義内容を理解する			30 分	
7	表現アートセラピー (6) ドラマを中心にして			実技	(復習) 講義内容を理解する			30 分	
8	学習効果を上げるためのアート表現			講義 一部実技	レポート作成				

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。